

【ネクストメジャー100】運用状況のご報告と今後の見通しについて

2026年2月13日 スマートプラス 投資運用部

平素より当ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。2026年1月の運用実績におきまして、米国中小型グロース株戦略である「ネクストメジャー100」がベンチマークに対し大幅な劣後となりました。この要因と今後の見通し、およびポートフォリオ全体の状況について詳細をご説明申し上げます。

1. ネクストメジャー100の現状のご説明

1月の「ネクストメジャー100」は、非常に厳しい運用結果となりました。

- ネクストメジャー100の月間騰落率： $\Delta 4.33\%$
- ベンチマーク（Russell 2000）： $+5.83\%$
- 乖離（超過収益）： $\Delta 10.16\%$

設定来（2025年2月～）のパフォーマンスにおいても -13.61% とマイナス圏で推移しており、シャープレシオも0.28と低迷しております。ベンチマークである小型株指数が上昇しているにもかかわらず、当ファンドが下落している現状を、運用担当として重く受け止めております。

2. ネクストメジャー100を取り巻く市況環境とベンチマークとの乖離のご説明

なぜ、指数（Russell 2000）が上昇する中で当ファンドが下落したのか、その背景には1月の米国市場特有の「歪み」と「AIテーマの質的变化」が存在します。

【要因1】投機的な相場展開

1月は政治的圧力や地政学リスクの高まりを受け、市場はファンダメンタルズ（基礎的条件）よりも価格変動そのものを狙うトレーディング主導の動きとなりました。その結果、業績の裏付けに関わらず、単にボラティリティが高いための「ハイリスク株」に資金が集中し、指数を押し上げました。

【要因2】AI関連銘柄の二極化（ハードウェア偏重）

AI関連投資において極端な選別が行われました。インフラ（半導体等）が買われる一方で、アプリケーション層であるSaaS（Software as a Service）銘柄に対し、「生成AIに既存ビジネスが代替されるのではないか」という過剰な懸念（AI脅威論）が台頭し、パニック的な売りが発生しました。

3. ネクストメジャー100の運用方針とパフォーマンス要因のご説明

当ファンドのアンダーパフォームは、戦略の失敗ではなく、一時的な「市場評価軸の乖離」によるものと分析しております。

【運用方針】

当ファンドは「高成長・高活動・好業績・ハイベータ」を重視し、「成長性が高く、実力のある銘柄」に厳選投資する戦略です。

【下落の要因（ファクター分析）】

1月は、皮肉にも当戦略の強みである「好業績（サプライズ）」や「高成長」といった通常であれば評価されるべきファクターが、市場全体で最も売られる（マイナス寄与する）という逆風が吹きました。特に、ポートフォリオの一部を占める高成長SaaS銘柄が、前述の「AI選別」の波に飲まれ、**実力に関わらず大きく売られたことが足を引っ張り**ました。

4. メジャー100及びSAMURAI 25の状況のご説明

ネクストメジャー100は調整局面ですが、一方、お客様にご提案している他の2戦略が機能し、ポートフォリオ全体のリスクを補完しています。

戦略名	1月月間騰落率	ベンチマーク乖離	設定来リターン	特徴・現状
SAMURAI25	+4.33%	△0.29%	+207.95%	設定来では、+207.95% に達し、TOPIX（+129.62%）を78%以上も上回る圧倒的な成果を上げています。日本市場の「高市トレード」やバリュー株シフトを的確に捉えています。
メジャー100	△0.71%	△2.08%	+20.48%	米国大型株の中でも「ハイクオリティ銘柄」に絞り、設定来では +20.48% のプラスを維持しており、安定的な資産成長に寄与しています。
ネクストメジャー100	△4.33%	△10.16%	△13.61%	中小型グロース株への逆風により、現在一時的な調整局面にあります。

ネクストメジャー100（米国中小型グロース）が逆風の局面で、SAMURAI 25（日本株バリュー）が大きく資産を守り育てており、ご提供している運用全体としては「分散投資の効果」が最大限に発揮されている状態と考えています。

5. 今後の方針のご説明

当ファンドは、「予測」ではなく「規律」に基づいた運用を継続します。

■「AI選別」後のリバウンド狙い

現在起きているSaaS銘柄への売りは一時的な過剰反応と考えています。今後は「AIに淘汰される企業」と「AIを使いこなして生産性を高める企業」の選別が進むと考えられ、当ファンドの「好業績・高成長」モデルは、後者の「真のAI勝者」を自ずと選別し、市場の冷静さが戻れば強力な回復力を発揮すると考えています。

■損失回復力の最大化

当運用のコンセプトは、暴落を回避することではなく、「損失回復力（ソルティノ・レシオ）」の最大化にあります。AIによる毎月のリバランスを通じてリスク特性を維持し、次なる上昇局面でのリターン最大化を、ぶれることなく今後も目指してまいります。

6. ネクストメジャー100の運用状況 Q&A

Q1. Russell 2000（指数）が上がっているのに、なぜこのファンドだけ大きく下がっているのか？

A1. 指数の上昇と当ファンドの戦略に「質的な乖離」が生じたためです。1月の指数上昇を牽引したのは、業績の裏付けが

乏しい「高ボラティリティ（高変動）株」などの投機的な銘柄群でした。一方、当ファンドは「好業績・高成長」の実力ある企業に投資しています。1月は異常な相場環境により、実力ある企業ほど売られる展開となりましたが、中長期的には企業の「稼ぐ力」が株価に反映されると考えております。

Q2. 設定来でマイナスが続いているが、いつ回復するのか？

A2. ご心配をおかけしております。現在は、SaaSセクターを中心としたAI関連の「選別」フェーズにおける調整局面です。しかし、組み入れ銘柄の売上成長や受注状況といったファンダメンタルズは良好です。市場が「AI脅威論」というパニックから脱し、冷静に業績を評価するフェーズに戻った際、当ファンドの重視する「回復力」が真価を発揮し、急速なリバウンドが見込めると分析しています。

Q3. ネクストメジャーを解約して、調子の良いSAMURAI 25に一本化すべきではないか？

A3. SAMURAI 25を高く評価いただきありがとうございます。同ファンドは設定来+207.95%

と、日本市場の波を十分に捉えています。しかし、資産運用の要諦は『関連の低い資産を組み合わせること』にあります。現在、日本株（バリュー）が絶好調で、米国中小型株（グロース）が調整しているこの状況こそ、分散投資が機能している状態です。ここでネクストメジャーだけを外すと、将来的に日本株が調整し、米国グロース株が急反発する局面でのリターンを逃すリスクが生じる恐れがあります。分散投資という観点では、例えばネクストメジャー100の資産の一部をSAMURAI 25へ振り分けることで、同時に為替リスクの分散を図るということも検討し得るものと考えます。

■ Wealth Growth 戦略の目的・特色

1. 目的

予測が困難な市場構造の変化（金利・為替などの外部要因）の影響を極力排除し、S & P500 を凌駕するパフォーマンスを目指します

2. 戦略の特色

特色 1：市場構造の予測を必要としない、全てのレジームで機能する汎用性の高いマルチファクターモデルによるクオンツ運用を行います。

特色 2：ニューヨーク証券取引所及び NASDAQ に上場する約 5,000 銘柄の詳細な市場及び財務データを活用します。

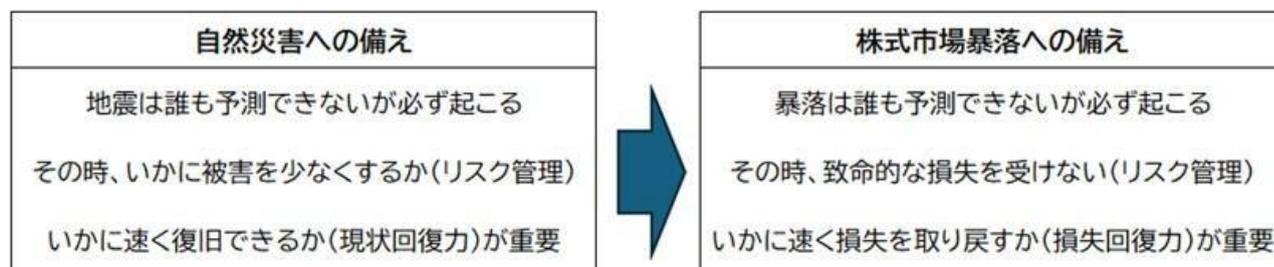
特色 3：銘柄選択において、大型株（Major）では「高収益性」「高EPS 安定性」「高財務安全性」「高株主還元性（=高配当）」「高サプライズ（=好業績）」によるハイ・クオリティ特性のモデルを活用、中小型株（Next Major）では「高成長性」「高活動性（=高い総資本回転率）」「高サプライズ（=好業績）」「高米国株感応度（=ハイベータ）」によるハイ・グロース特性のモデルを活用します。

特色 4：組入れ銘柄数は 20～25銘柄程度の集中投資、業種分散は市場構成比並みとし、リスクは S & P500 ±10%程度となるよう毎月リスク調整のリバランスを行います。

3. 戦略のコンセプト

・Wealth Growth（ウェルスグロース）のコンセプトは、誰もできない将来の予測よりも、

「リスク管理と損失回復力を重視した運用で資産を成長させる」ことにあります。



・損失の回復力が運用にとって極めて重要な理由は、

「損失よりも、利益が大きい投資」を続けていけば、いずれ利益が損失を上回る確率が高い運用となるためです。

・回復力を示す運用指標ソルティノ・レシオ※を最大化

ソルティノ・レシオの最大化のために、AIにファクターの組み合わせを見つけ出させた結果、下記が、市況の予測を必要とせず、全ての市況で機能することが分かりました。

※ソルティノ・レシオとは、リターンの方リスクのみの標準偏差を利用し損失のみに注目して効率を評価する尺度です。計算式は、年率換算リターン/年率換算下方リスク。

① 大型株 (Major)

「高収益」×「EPS 安定」×「財務健全」×「高配当」×「好業績」といった、ハイ・クオリティ特性あるファクターを選択し、本質的に価値の高いハイ・クオリティ銘柄群に投資します。

② 中小型株 (Next Major)

「高成長」×「高活動」×「好業績」×「ハイベータ」といった、ハイ・グロース特性あるファクターを選択し、成長性の高いハイ・グロース銘柄群に投資します。

4. ファクターの説明

Wealth Growth (ウェルスグロース) は、ファクターに基づく運用を行っており、ファクターは以下を採用しています。

	ファクター	代表的ファクター構成指標
1	収益性	売上高営業利益率、ROE、ROA、等
2	成長性	売上高成長率、経常利益成長率、等
3	活動性	総資本回転率、等
4	財務安全性	財務レバレッジ、CF負債比、等
5	割安性	経常利益株価比、自己資本株価比、等
6	株主還元性	配当利回り、等
7	サプライズ	経常利益修正率、等
8	EPS安定性	1年EPS変化の安定性、等
9	米国株感応度	米国株感応度60日間、等
10	規模	上場時価総額、等
11	価格水準	株価、等
12	騰落率	60日騰落率、等
13	変動性	ヒストリカルボラティリティ60日、等
14	流動性	売買代金20日平均、等

5. リスク管理

Wealth Growth (ウェルスグロース) は、回復力が高いポートフォリオを構築する際の最適化条件として、

- ① 銘柄数を、20～25 銘柄としています
- ② 1 銘柄、10%以上保有しないようにしています
- ③ 特定業種に偏重しないようにしています
- ④ 上記の様な、十分なリスク分散を考慮した上で、損失回復力が最大となるよう、AI による最適化を行っています
- ⑤ また、エクスポージャーを監視し、ポートフォリオのリスク特性を維持するよう、定期的にリバランスを行いリスク管理を行っています

以上

(提供：株式会社スマートプラス)

免責事項

ご留意事項

「WEALTH GROWTH」は、株式会社スマートプラスが提供する投資一任運用サービスです。Jトラストグローバル証券株式会社は「WEALTH GROWTH」の業務委託先として、お客様と株式会社スマートプラスとで交わす投資一任契約締結の媒介を行っております。

「WEALTH GROWTH」へのお申込、契約、お取引に関するお客様の情報に関して、株式会社スマートプラスより当社は媒介業務の範囲で業務委託先として個人情報の共有を受けております。

<業務内容について>

Jトラストグローバル証券株式会社は、本サービスにおける株式会社スマートプラスとお客様との間の投資一任契約の締結に係る媒介を行う役割を担い、以下の業務を行います。株式会社スマートプラスは、投資運用業を行う役割を担い、以下の業務を行います。

【Jトラストグローバル証券株式会社】

- 対面または電話等による投資一任契約等および投資一任サービスの内容の説明や契約締結の媒介に係る勧誘
- 口座開設画面や投資一任運用サービス画面への誘導・操作の案内
- 入金状況・取引状況に関するお客さまから照会への対応
- 株式会社スマートプラスからお客さまに提供される各種報告書等に関するお客さまからの照会への対応
- 株式会社スマートプラスから提供されると投資一任運用サービスに係るシステム等を経由して取得可能な情報に基づくお客さまからの照会等への対応（入出金日、取引日、個別銘柄の売買内容等）
- 投資一任運用サービスに基づきお客さまに提供されるポートフォリオのパフォーマンス、組入銘柄の内容やパフォーマンス等に関する客観的な情報等の提供

【株式会社スマートプラス】

- 投資一任契約の説明および締結（契約締結前書面、契約締結時書面の交付）
- 入出金に係る手続き
- 投資一任運用サービスに係る運用ポートフォリオの構築・リバランスに係る売買の執行
- 取引および残高に係る報告および運用に係る報告

重要事項

<手数料など諸費用について>

「WEALTH GROWTH」をお客様が利用するに当たり、以下の手数料を負担していただきます。詳細は、株式会社スマートプラスが電磁的方法等によりする契約締結前交付書面等にてご確認ください。

- 購入時手数料（運用コース増額申込時に、増額金額に対して負担していただく費用です。投資環境の説明や情報提供等、ならびに契約締結に必要な事務コストの対価としてお支払いいただく費用となり、業務委託を行っている場合、株式会社スマートプラスから業務委託先に支払う費用が含まれます。）

- サービス利用料（運用資産の時価評価額に対し負担していただく費用です。ポートフォリオのリバランス（銘柄の入れ替え等）、各種レポートや報告書の作成等、およびシステム運営等に必要コストの対価としてお支払いいただく費用となります。）

<投資一任契約（ウェルスグロース）に係るリスクについて>

本サービスにおける投資一任契約に基づく運用は、値動きのある有価証券（米国株式または日本株式の個別銘柄）を投資対象としているため、当該有価証券の上場市場における取引価格の変動や為替の変動等により運用資産の価値が変動します。従って、本サービスは投資元本が保証されるものではなく、投資一任契約に基づきお客様からお預かりした資産の当初の評価額（投資元本）を下回ることがあります。本サービスにおける主なリスクは以下のとおりです。ご契約に当たっては契約締結前交付書面をよくご確認ください。

【相場変動リスク】

お客様が所有するポートフォリオを構成する米国または日本の上場株式（コースにより異なります。以下、「上場株式」という。）は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動に伴い価格が変動します。本サービスは、その影響を受けてお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。

【信用リスク】

お客様が所有するポートフォリオを構成する上場株式の発行者などの信用状況に変化が生じた場合、当該上場株式の市場価格が変動することによってお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。

【流動性リスク】

上場株式は、市場環境の変化等により取引に支障をきたし、売却できない場合があります。本サービスはその影響を受けて換金できないリスクがあります。

【カントリーリスク】

通貨を発行する国家固有の政治的・経済的な変動等により投資元本を割込んだり、途中売却が困難になる可能性があります。また、政府等による突発的な取引規制が行われた場合、円を含む他通貨への交換に影響がでる可能性があります。

【為替リスク】（米国株式コースおよび米ドル預かり金のみ）

本サービスにおける投資一任契約に基づき投資運用される米国上場株式および米ドル預かり金（以下、「米国上場株式等」という。）は、為替相場（円貨と外貨の交換比率）が変化することにより、為替相場が円高になる過程では円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では円貨換算した価値は上昇します。したがって、お客様が所有するポートフォリオを構成する米国上場株式等の日々の円貨換算の時価評価時および売却時の為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。本サービスは、その影響を受けてお客様が所有するポートフォリオの時価評価額が大きく変動し、投資元本を割り込む場合があります。また、本サービスにおける各種手数料等の費用の徴収に伴い為替取引を行う際に、為替相場の変動により円貨換算した費用の額は変動します。

<p>[投資一任契約の媒介業者]</p>  <p>Jトラストグローバル証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第35号 加入協会/ 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会</p>	<p>[口座管理機関]</p>  <p>株式会社スマートプラス 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第3031号 加入協会/ 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会</p>
---	---